

I -1 災害の概要

※一報の場合 は記入不要



区分	請負	No	-	種別	墜落・転落	傷害程度	重傷 (見込み)
発生日	2024年11月21日 (木)			時間	8時 10分 頃	天候	曇り
発生事業所	東電PG 成田エリア			場所	千葉県佐倉市畔田 781-1		
業態	配電			本社主管部	配電部		
被災者							
氏名	A	性別	男	年齢	75歳	国籍	日本
所属・会社	元請：(株) D , 一次請：O (個人)					経験年数	57年7ヶ月
傷害の状況	左足首骨折・背骨圧迫骨折			全治等 (休業日数)	不明		
発生概要	低圧単独計器取替業務において古井戸内に墜落し負傷 (想定) ※単独作業であり,被災者本人への聞き取りができていない為,現状,墜落までの経緯不明。						



I-2 災害状況 時系列

11月21日（木）

当日朝,被災者は手持ち作業16件を持ち現場出向

8:00 現場到着後,計器取替の準備を開始

計器前面にある古井戸上に乗せてあった板に足を掛けたところ

板が割れてしまい,古井戸内へ墜落した（想定）

8:11 被災者から（株）D社営業所へ電話連絡し

『失効替作業前に古井戸に落ちたので梯子とロープを持ってきてほしい』

との連絡有

8:30 所長,副所長,現場代理人,安全コーチが現地へ出向

8:52 現場代理人→東光高岳へ事象発生連絡

9:02 東光高岳→配電建設Gへ一報

9:05 所長以下4名が現地到着

- ・被災者はすでにお客様より梯子をかけていただき自力で地上へ上っていた
 - ・被災者は外見上げがをしているようには見えず,作業継続の意思もあったが
工事会社の判断で作業中止し病院搬送とした
- ※足の痛みを言っていたが自力で歩行していた



I-2 災害状況 時系列

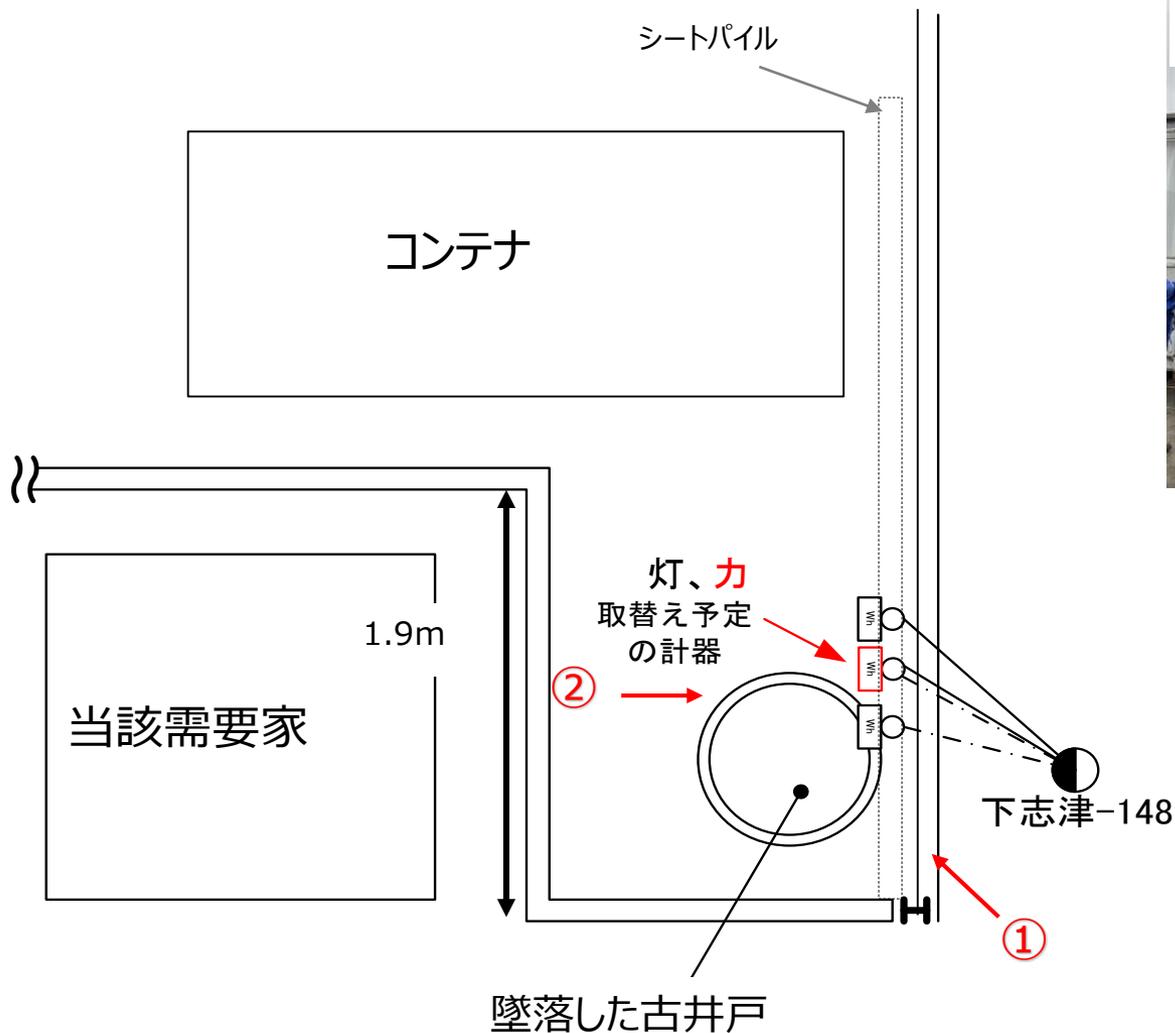
11月21日（木）

- 9：15 現場代理人の運転で被災者は病院へ出発（自力で車に乗り込んだ）
- 9：42 工事会社所長より東光高岳へ上記内容報告
- 9：50 被災者は病院到着
- 9：50 東光高岳・所長・副所長・安全コーチにて現場確認
- 11：25 現場代理人より工事会社副所長へ診断結果報告
 - ・診断結果【左足首骨折・背骨圧迫骨折】
 - CT診断中で別途手術の必要あり
- 11：34 現場代理人より工事会社副所長へ連絡
 - ・本日より入院。手術は早くても翌週の水曜日以降
- 11：40 東光高岳と配電建設GMは上記診断結果受領
- 11：48 配電建設GMより配電部へ一報

11月22日（金）

- 14：00 以降 家族了承のもと被災者と面会予定
 - ※墜落までの詳細な経緯を確認

I-3 災害状況 状況図

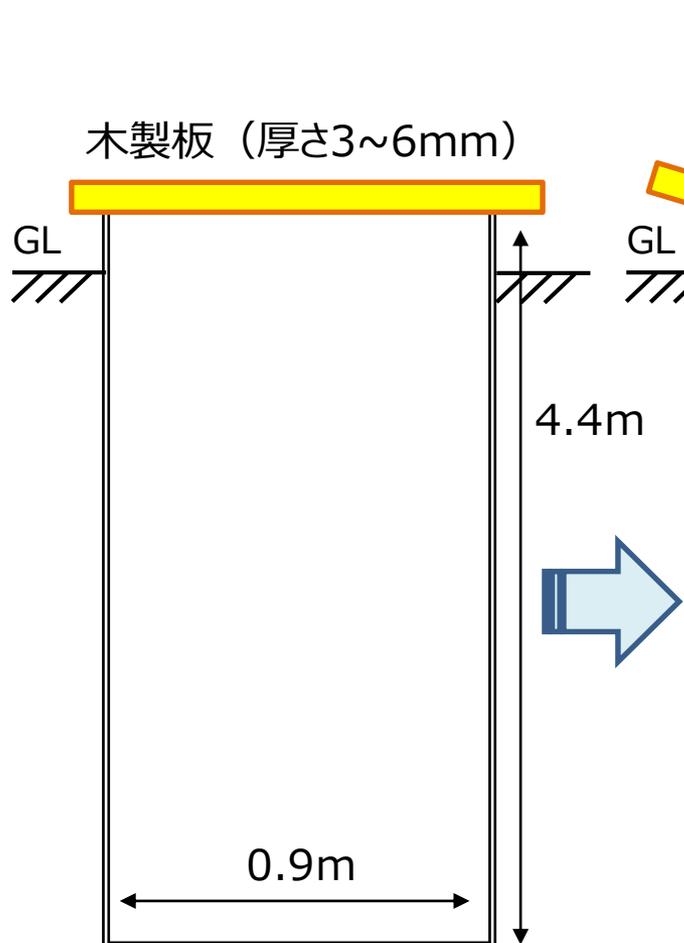




I-4 災害状況 状況図

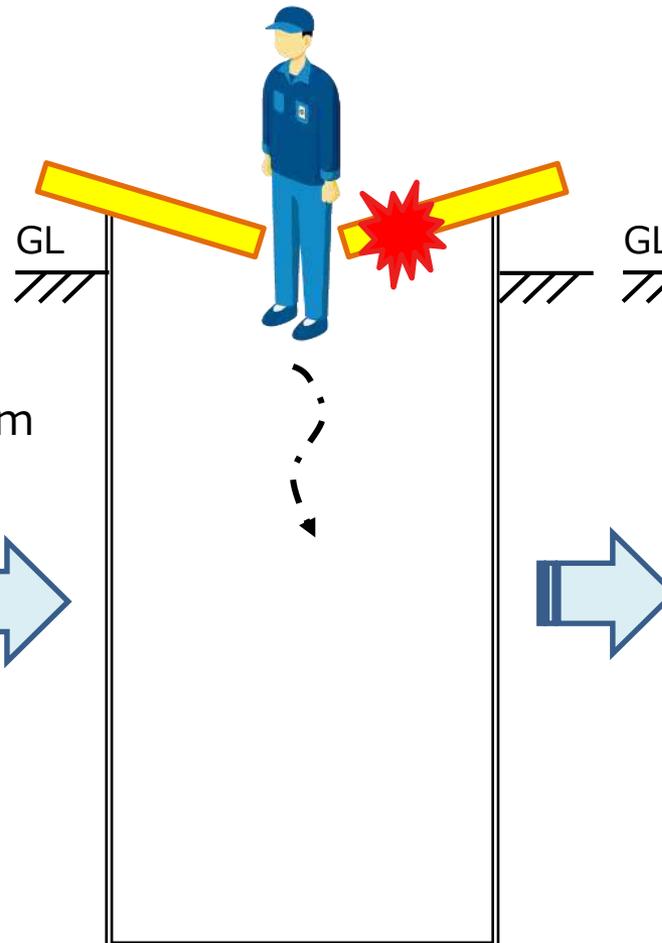
【墜落に至った経緯（想定）】

①現場到着時（想定）



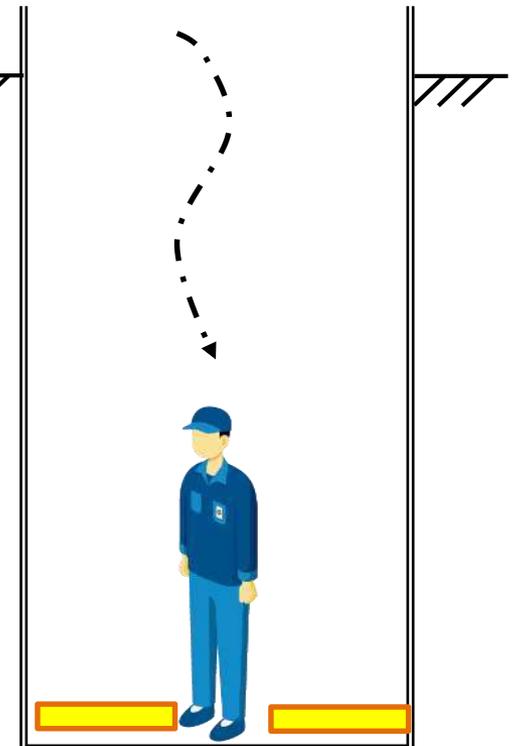
②作業前

→上に乗った際、木製板が割れてしまった（想定）



③被災時

→古井戸の底まで墜落（想定）



I-5 災害状況 状況図



木製板 (表面)

厚さ3~6 mm程度



古井戸
(地上)

外径102cm
内径 90 cm
深さ4.4m



※一報の場合 は記入不要

I -1 災害の概要

区分	請負	No	-	種別	転倒・つまずき		傷害程度	不休 (見込み)
発生日	2024年 11月 26日 (火)			時間	11時 40分 頃		天候	曇り
発生事業所	東電 P G 埼玉総支社 春日部エリア			場所	埼玉県 北葛飾郡 杉戸町			
業態	配電			本社主管部	配電部			
被災者								
氏名	A	性別	男	年齢	61歳	国籍	日本	
所属・会社	元請：(株) S、一次請：I (個人)					経験年数	42年 8ヶ月	
傷害の状況	右腓骨遠位端・足踵骨骨折			全治等 (休業日数)	不明			
発生概要	<ul style="list-style-type: none"> ・低圧単独計器取替（失効替）業務において階段を踏み外して転倒し負傷 ・服装 安全帽、防アーク面、作業着、腰道具、作業靴 							



I -2 災害状況 時系列

11月26日 (火)

当日朝、被災者は手持ち作業31件を持ち現場出向

11 : 20 被災者は当該現場 (被災場所) のアパートへ到着 ※全7件

11 : 30 当該アパートの1件目の工事が完了
※階段の付近に計器が設置されていた

11 : 40 2件目の工事場所へ移動しようと右手に計器収納袋 (計器3台) と脚立、左手にも計器収納袋 (計器3台) を持ち、4段の階段を降りる際、一番下の4段目を踏み外してしまい、前のめりに倒れかかったところ、身体を捻って後ろ側に転倒し右足を負傷した。

12 : 00 被災者は (株) S 社事業所へ電話連絡し災害の発生を報告。
その後、自ら車両を運転し病院へ向かう。

15 : 00 被災者は病院に到着し、右腓骨遠位端および足踵骨の骨折を診断された。



I-3 災害状況 状況図





I-3 災害状況 状況図

<災害発生時の所持状況>



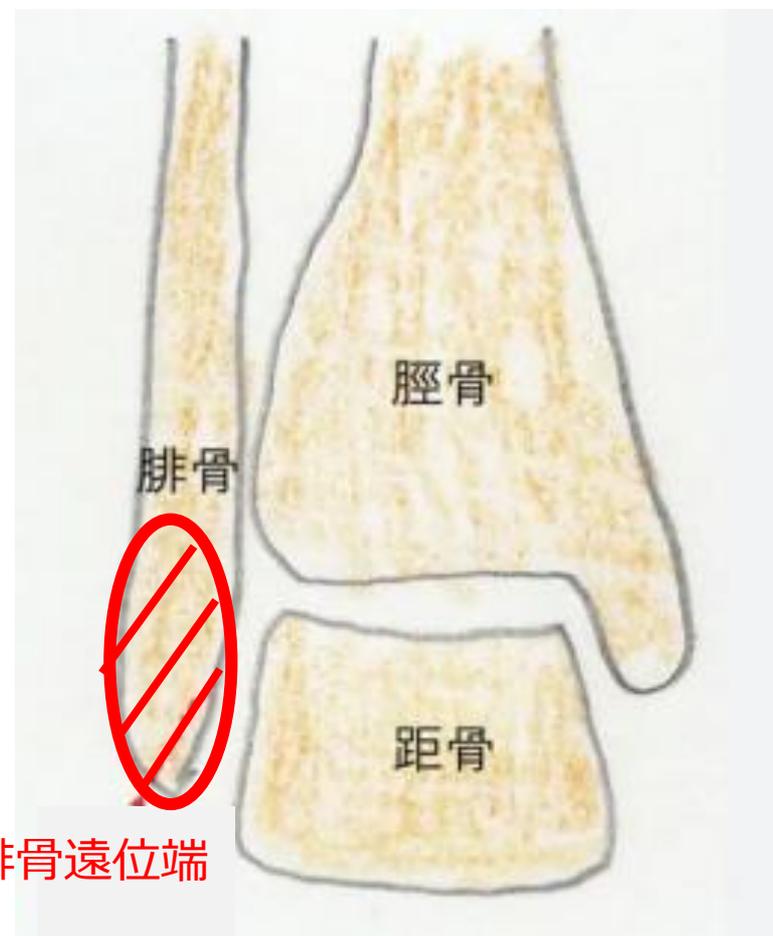
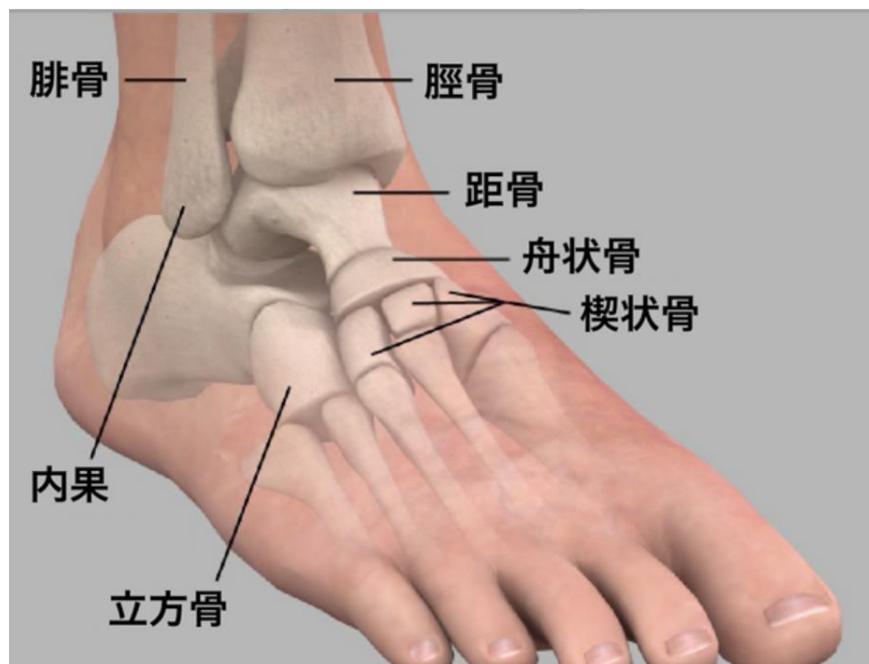
- ・計器収納袋 (計器 3 台)
- ・脚立

- ・計器収納袋 (計器 3 台)



I-3 災害状況 状況図

<骨折部位>



右腓骨遠位端

